

第 3 章

チーム紹介

Meet the team



匠 TAKUMI



50周年記念コンサート(夢・追・人演奏)

チーム紹介

創立以来50年を迎えた米子がいな太鼓保存会14団体、約140名の頂点に立っているのが「匠」(たくみ)です。

米子流の創始者である本田幸男が創設し、2代宗家の仙田英人が率いる準師範以上のメンバーが打ち鳴らす太鼓は、そのメンバーの感性によりほとんどがアドリブ演奏です。米子がいな太鼓の大きな特徴である「リズム組曲太鼓」の枠を越えて、その奏者の太鼓に対する生き様を自由なリズムで表現します。太鼓の世界に足を踏み入れてからの楽しみ、悩み、そして挫折、それを乗り越え再び希望が見えてくる。そんな長い長い芸の道に身を置いて精進し続けています。



初代匠メンバー
(本田幸男、仙田英人、柴田幹也、仙田裕二、上田正雄)



第51回米子がいな祭BSS公開生放送



米子鬼太郎空港リニューアルイベント

- 1999 「匠」結成
米子がいな太鼓25周年記念コンサート
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2005 愛・地球博「鳥取県民の日」
全国生涯学習フェスティバル
まなびピア2005閉会イベント
鳥取県和太鼓連盟コンサート2005
皆生つるやイベントオープニング
- 2006 松江しんじ湖ロータリークラブ「和太鼓のタベ」
おかしん年金友の会
- 2008 米子中央ロータリークラブ創立15周年記念祝賀会
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2011 米子がいな祭JC総決起大会
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念式典
米子がいな太鼓40周年記念コンサート
- 2019 米子鬼太郎空港リニューアルイベント
米子がいな太鼓45周年記念コンサート
(記念ミニコンサート)
- 2021 第48回米子がいな祭
(1日開催、市民球場)
米子がいな太鼓和太鼓コンサート2021
- 2022 第49回米子がいな祭
鼓動心響だんだんinアルテピア
- 2023 第50回米子がいな祭
- 2024 第51回米子がいな祭
米子がいな太鼓50周年記念コンサート
(OP演奏、記念演奏)



50周年記念コンサート(がいな太鼓演奏)

チーム紹介

極は1994年に、10年以上のキャリアをもつメンバーで結成されました。各大人連から集まったメンバーはがいな太鼓愛で繋がっており、技術を高めあうチームとなっています。

現在は、各大人連からもっと太鼓を打ちたいと熱意のあるメンバーが集まっており、経験年数を問わず、大人連の代表チームとして活動しています。近年は子供連から続けているメンバーが増え、コンサートの企画や運営まで手掛ける保存会の中心的存在です。極のメンバーの多くが、子供連や若あゆ連、颯連の指導に携わっており、米子流がいな太鼓の技術を後世に伝える役割も担っています。

楽曲のレパートリーは「がいな太鼓」「旋風」「日本海」「風雅」「雄飛」や、近年がいな祭で披露している万灯・がいなCONとのコラボレーション演奏など多岐に渡ります。様々な状況にあわせ、演奏披露の形態を変化できる柔軟な対応が極ならではの技術力です。

今後がいな太鼓保存会の中心的存在として活躍していきます。



35周年コンサート(極と若あゆ連による勝田浜合戦)



40周年コンサート集合写真



初めての極法被(ニューコスチューム)

米子市・東草市姉妹都市 20周年記念公演

2015年10月に、米子市と韓国東草市の姉妹都市20周年を記念し文化交流が行われました。米子市訪問団の一員としてがいな太鼓「極」のメンバーが東草市の雪嶽(そらく)文化祭に参加し、「旋風」を披露しました。また、米子市訪問団の歓迎晩餐会も開催され、東草市の方々との交流を深めました。

マカオ春節パレード

2016年の香港便就航でマカオと鳥取県の交流が深まる中、中華圏の旧正月である春節に合わせ開催されるパレードに日本代表として、太鼓、万灯、がいなCONの「がいなコラボレーション」メンバーが参加する予定でしたが、先発メンバーが現地に到着した翌日に新型コロナウイルスの防疫の為、春節イベントが全て中止となり、演舞を披露することができませんでした。



姉妹都市20周年記念公演(韓国東草市にて)



先発メンバーにて衣装を着て記念撮影



新型コロナの為、演舞中止となった
世界遺産 聖ポール堂天主堂前にて

- 1994 極(きわめ)結成
米子がいな太鼓20周年記念コンサート
- 1997 鳥取県観光と物産展【高知県】
鳥取県和太鼓連盟コンサート
(山陰夢みなと博覧会)
- 1998 日本太鼓フェスティバル
- 1999 米子がいな太鼓25周年記念コンサート
- 2001 山陰道開通記念イベント
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2013 全国植樹祭
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
- 2015 米子市・韓国東草市姉妹都市
20周年記念公演(韓国)
- 2016 中四国郷土芸能フェスティバル
- 2017 鳥取県総合芸術文化祭とりアート
「磨公部主」演奏
- 2018 小羊チャイルドセンター50周年記念(東京)
- 2019 出雲神話祭オープニングセレモニー
日韓合同国際シンポジウム
米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2020 和太鼓イベント 鼓動心響
上海吉祥航空総裁歓迎会
東京2020オリンピック聖火リレー
ミニセレブレーション
JA鳥取いなば謝恩の集い
(全10回公演)
日本海テレビ「新ふるさと百景」出演
- 2022 米子南ロータリークラブ新年例会
日本骨形態計測学会
健康ボクシング大会入江聖奈杯
鳥取伝統芸能まつり
鳥取県西部オレンジリボンたすきリレー
- 2023 米子市二十歳を祝う会
米子駅がいなロード開通イベント
- 2024 米子城ガイダンス施設オープニング
境港クルーズ船イースタンドリーム号
試験運行式典
第68回鳥取県植樹祭オープニング
県民総合福祉大会
リアルDE伝統文化教室
米子がいな太鼓50周年記念コンサート

若連 WAKAREN



50周年記念コンサート(PASSION演奏)

チーム紹介

1974年に第1回米子がいな祭が開催され、そのイベントの一つとして全国有名太鼓競演が催されました。その太鼓演奏に魅了され、米子にもこんな素晴らしい郷土芸能を創りたいと、熱意を持った11名の若者が米子がいな太鼓を誕生させ、翌年の1月からたった半年の期間で、第2回米子がいな祭で米子市民の大観衆が見守る中、鮮烈にデビューを飾りました。それまでの練習は仕事もほぼそっちのけで、週3回。加えて土、日の1日練習をこなすと言う超過密なものでした。ただ当時はまだ1チームだったため、チームの名称はついておらず、その3年後、約半数まで減ったチャーターメンバーと新たに参加したメンバーにより「若連」と言うチームが誕生しました。現在は、がいな太鼓のなかで、もっとも歴史のあるチームとして、太鼓歴40年を超えるベテランメンバーと共に、高校生主体のチーム若あゆ連から研修生を受け入れて、本田創始者、仙田宗家から、より深いがいな太鼓の技を指導してもらっています。



20周年記念コンサート 米子市公会堂 (1994年10月)



40周年記念コンサート (2014年)



観光キャンペーン(1989年)



皆生の松林にて(1979年)

初演奏で大失敗

1975年6月に米子がいな太鼓誕生記念発表会が関係者及び家族を招待し公会堂で開催された。完成したてのがいな太鼓をまさに披露する場である。がいな太鼓は13分位の曲である。それが演奏開始後約3分で終了してしまった。会場一同が騒然とする中、リーダーの一声が発せられた。「間違えました。もう1度やります」。なぜそんな間違いを犯したのか。リーダーが舞い上がってしまい2楽章の「若衆」から6楽章の「祭り」にワープしてしまったのだ。改めて再演奏する羽目となり、とんでもない発表会で終了するという失敗談であった。

ネパールにて大熱狂

初めて海外で演奏する機会を得たのは、1980年フィリピン遠征であった。更にその翌年の1981年に鳥取県青年の翼でネパールに遠征した時、地元の市民の大熱狂を受けたのである。二度のコンサートホールの演奏は、客席が全て埋まり立ち見客が出て、更にホールの外まで観衆が集まり大盛況であった、市中のパレードではレンガ作りのビルが倒壊するのではと思うほどの、大勢の市民が身を乗り出して声援を送ってくれた。また、市中の道路は市民が埋め尽くした。遠征メンバー一同の心に深く刻み込まれたのであった。



第40回国民体育祭秋季大会(鳥取市) (1985年)



第3回鳥取県青年の翼ネパール (1981年)



韓国江原道エキスポ (1999年)

- 1975 「がいな太鼓」誕生
第2回米子がいな祭
- 1976 勝田神社第1回初打ち
- 1978 国際青年会議所世界大会
(フィリピンマニラ市)
- 1979 米子がいな太鼓5周年記念コンサート
- 1980 第3回西日本豊かな郷土展
(福岡県小倉市)
鳥取県物産展(東京ドーム)
- 1981 第3回鳥取県青年の翼(ネパール)
第8回米子がいな祭
- 1984 米子がいな太鼓10周年記念コンサート
- 1985 第40回国民体育祭秋季大会
- 1989 米子がいな太鼓15周年記念コンサート
- 1994 米子がいな太鼓20周年記念コンサート
- 1997 山陰夢みなど博覧会祝賀パーティー
- 1998 神戸山手女子中自然教室
米子市観光キャンペーン
第19回米子市民余芸大会
- 1999 韓国江原道エキスポ(韓国)
米子がいな太鼓25周年記念コンサート
- 2001 鳥取県観光フェスタ
鳥取県主催出前文化公演
和太鼓コンサート
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
勝田神社初打ち
大山鏡ヶ成休暇村自然教室
安来鉄鋼センター創業20周年
記念行事アジア太平洋環境会議
市長主催レセプション
- 2006 米子つつじまつり
おかしん年金友の会
- 2008 鳥取県和太鼓連盟コンサート
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2012 とっとり伝統芸能まつり
米子青年会議所7月第2例会懇親会
- 2013 食のみやこグルメフェスタ米子
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
- 2015 鬼面太鼓振興会20周年記念コンサート
やすぎ月の輪祭り
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2024 米子がいな太鼓50周年記念コンサート

錦聚連 KINSYUREN



50周年記念コンサート(俊爽演奏)

チーム紹介

錦聚連は、発足当初『市役所連』としてスタートしたチームです。

1990年の秋に前川政基氏(市役所連初代リーダー)の声掛けに賛同した市役所の職員40名程度が集まり結成されました。当時、基礎練習を重ねる度に人数が減っていましたが、翌年4月に開催された米子桜まつりにおいて14名で「打ち込み太鼓」を演奏しデビューしました。当日は小雨模様のため、お客様はコーチの本田(現創始者)ご夫妻だけという、とても緊張したステージでした。

その後、代表曲「がいな太鼓」を演奏できるようになると、市役所連として地域のお祭りなどに年間30件近く出演するなど、今日までに様々なイベントに参加させていただきました。2010年にはチーム名を錦聚連に改めて再出発することとなり今日に至ります。「錦」とはふるさとの象徴の一つ錦海から、「聚」とはあつまるという意味で、ふるさと米子に人々がたくさん集まり、この街のさらなる発展と米子がいな太鼓保存会の飛躍を掲げています。衣装の背には縁起を担いで寄席文字にて『聚』の一文字を入れています。



米子がいな祭 (2011年)



米子がいな祭 (2012年)



初期頃のメンバー



トワイライトエクスプレス瑞風おもてなし（2017年）

- 1990 「市役所連」結成
創設者：前川政基（初代リーダー）
- 1991 米子桜まつりにて初ステージ
「打ち込み太鼓」演奏
- 1992 中国保定市友好代表团歓迎式
- 1993 陰陽互栄綱引き大会に出演
（この頃、年間30件くらいの公演に出掛けていました）
- 1994 米子がいな太鼓20周年記念コンサート
「鼓勇」演奏
二代目リーダーとして保木本賢一就任
- 1999 米子がいな太鼓25周年記念コンサート
初めてのオリジナル曲「いぶき」演奏
- 2000 市内スーパーにがいな太鼓の
壁画が現れ、笑顔満開のメンバーが
掲載される
（この貴重な壁画は現存しています）
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
オリジナル曲「いぶき」演奏
- 2007 全国和牛共進会に出演
- 2008 鳥取県和太鼓連盟コンサート
「和太鼓ふるさとの響2008」出演
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
オリジナル曲「天馬」演奏
- 2010 チーム名を「錦聚（きんしゅう）連」と
改め再出発する
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
オリジナル曲「俊爽（しゅんそう）」演奏
- 2017 トワイライトエクスプレス瑞風
おもてなし事業に出演
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
オリジナル曲「俊爽」演奏
- 2020 三代目リーダーとして遠藤史章就任
- 2024 米子がいな太鼓50周年記念コンサート
オリジナル曲「俊爽」演奏

陰陽互栄綱引き大会 ステージにて

1993年5月、米子自動車道の開通を記念して山陰と山陽の2市22町村が参加した陰陽互栄綱引き大会のイベントがあり、がいな太鼓の演奏後、米子市チームの一員として衣装を纏って参加しました。日頃の太鼓練習で得た腕力に自信を持って挑んだ綱引きですが、開始わずか数秒で敗北したという珍記録が残りました。

米子桜まつりにおける デビューステージ

1991年4月「米子桜まつり」での演奏が市役所連のデビューです。演奏後、本田さんを囲んでのお酒がとても美味しかったです。
現在も、太鼓のほかにバーベキュー大会などで世代間交流を行っています。
地域を愛し、人と人とのつながり、人を敬い慈しむ心を大切にしながら活動しています。



陰陽互栄綱引き大会（1993年5月）



デビューステージ（1991年4月）



バーベキュー大会（2024年12月）

酸友連 SANYUREN



50周年記念コンサート(義友合奏演奏)

チーム紹介

山陰酸素グループの和太鼓チーム【酸友連】は1999年1月に発足し、今年で25年が経ちました。発足会で、並河会長の「不景気な中、縮こまってはいけない。このような時こそ意識を高めよう。グループの地域に根差した活動として、がいな太鼓に取り組もう」という力強い言葉のもと活動をスタートさせました。

酸友連は、がいな太鼓保存会で唯一の企業チームとなっており、メンバーも山陰酸素グループの社員のみで構成されています。

就職してから太鼓を始めたメンバーがほとんどでお互いに切磋琢磨しながら、活動を続けてきました。

今後も米子の郷土芸能「がいな太鼓」を通じて地域に貢献していきたいと思っています。



がいな祭初出演 (1999年)



がいな祭での義友合奏演奏 (2008年)



35周年記念コンサート(2009年)



Ring初披露(2015年)

- 1999 『酸友連』 結成
リーダー 牧田洋一
社内行事にて曲目【打ち込み太鼓】初披露
がいな祭初出演
米子がいな太鼓25周年記念コンサート
2代目リーダー 佐野光雄 就任
- 2001 曲目【がいな太鼓】初披露
- 2002 初の強化合宿(以降、毎年実施)
初の段位取得(メンバー内3名)
- 2003 3代目リーダー 松浦純二 就任
曲目【鼓勇】初披露
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2005 曲目【旋風】初披露
- 2006 曲目【義友合奏】初披露(初のオリジナル曲)
- 2007 鳥取県和太鼓連盟コンサート
- 2008 韓国【日韓交流おまつり2008】にて
初海外演奏
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
- 2015 曲目【Ring】初披露(2曲目のオリジナル曲)
韓国遠征
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2020 奉納初打ち太鼓(勝田神社)
- 2023 4代目リーダー 樋口海斗 就任
- 2024 米子がいな太鼓50周年記念コンサート

【地域行事、会社行事出演】

- 丸京どらドラ工場祭
- 富益納涼盆踊り大会
- 崎津公民館祭
- 中島町民納涼夏祭り
- 成実ふれあい夏祭り
- 山陰酸素工業 卯月会懇親会
- 山陰酸素協力会
- さんれいフーズ春季食品総合展示会
- さんれいフーズ秋季食品総合展示会
- 日産プリンス鳥取販売(株)プリンス会
(他多数出演)

日韓の架け橋に

酸友連発足10年目の2008年に米子がいな万灯とともに「日韓交流おまつり」出演のため、初めての海外公演である韓国へ。ソウルのメイン会場で万灯囃子を演奏し、会場を盛り上げました。華々しいステージでの演奏、たくさんの観客、出演したメンバーには忘れられない良い思い出となっています。



日韓交流おまつり(2008年)

合宿で深める絆

酸友連は同じ職場のメンバーが集まっているといっても、部署が違うので普段の練習や強化合宿を行うことでチームとして団結を図ってきました。コロナ禍前まで年に一度、がいな祭前に行う一泊二日の強化合宿は恒例行事で練習はもちろん、夜の酒宴がチームを一つにする要因でした。飲みすぎで練習に支障が出ることも…。



緑水園合宿(2003年)



合宿練習風景(2016年)

陸 自 連

RIKUJIREN

2023

「陸自連」結成
米子がいな祭にて初ステージ
米子駐屯地創立記念行事での演奏
米子駐屯地年忘れ行事での演奏

2024

米子がいな祭



2024米子がいな祭(打ち込み太鼓演奏)

チーム紹介

2023年5月に陸上自衛隊米子駐屯地において現リーダー日置貴博、現駐屯地司令 阿部正昭、現本部管理中隊長 長谷川豊人を中心に隊員の士気の高揚・団結の強化・地域とのつながりを深めるとともに文化活動の発展に寄与する目的で「米子駐屯地太鼓部」として創部、以来本田創始者に演奏指導・練習場所の提供をいただく。同年6月に「陸自連」として正式にがいな太鼓保存会に加盟し、8月のがいな祭への参加、以降自衛隊内での演奏を中心に活動中。

チームとしての目標は自衛官らしく力強い「人の心に響く」太鼓演奏により地域活性化に貢献し、将来的には自衛隊最大の音楽イベントである「自衛隊音楽祭り」に参加できるよう日々練習中であります！



米子駐屯地73周年記念行事（2023年）

チームから一言

創部間もない頃、文化活動館に初めてご挨拶に訪れた際、本田創始者、若連の皆さんに演奏を披露していただいた時の衝撃は我々の心に強く響き、本物の太鼓演奏を垣間見た瞬間でした。また、初めてのがいな祭では我々を快く受け入れて下さった保存会の皆さん、演奏指導をして下さった本田創始者、仙田宗家、栗谷コーチには心から感謝しています。今後ともがいな太鼓保存会の1チームとして貢献できるよう一層努力して参ります。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします！



米子がいな祭（2023年）



米子がいな祭（2024年）

若獅子 WAKAJISHI



50周年記念コンサート(晩演奏)

チーム紹介

若獅子は当初、若連のチームinチームとして2016年にスタートしました。

その後、2019年に各団体より30歳以下のメンバーを募り、若手中心の単独チームとして正式に結成されました。現在は19名のメンバーが所属しており、その多くは小学生から太鼓を打ち続けています。高校を卒業後は、地元就職し太鼓を続けるメンバーや、進学で県外へ出て太鼓を離れるメンバーと様々ですが、「また太鼓をやりたい!」と若獅子のもとへ集まるそんなチームとなっています。

今後も、自分たちが学んだことを、次の世代に継承し、がいな太鼓の発展に尽力したいと思います。



45周年記念コンサート『リズムヴァリエーション響』(2019年)

50周年記念コンサート

今からちょうど10年前の40周年記念コンサートで、演奏された『尼子再興＝勝田浜合戦・山中鹿之助幸盛＝』。現リーダーは、当時若連に所属しており、この曲をいつか演奏をしたいと思いついていました。50周年を迎えた2024年、高校の卒業と同時に一度地元を離れていた同級生にも声をかけ、思い続けた曲を、最高のメンバーで演奏することができました。



50周年記念コンサート『勝田浜合戦』(2024年)



米子がいな祭(2017年)

- 2019 『若獅子』結成
(以降がいな祭に毎年出演)
米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2020 米子がいな太鼓保存会新年会
- 2021 第48回米子がいな祭
(1日開催、市民球場)
- 2022 第49回米子がいな祭
米子がいな太鼓保存会定期演奏会
「鼓動心響だんだん」
- 2023 第50回米子がいな祭
- 2024 第51回米子がいな祭
米子がいな太鼓総会懇親会
米子がいな太鼓50周年記念コンサート
オリジナル曲「暁」と「尼子再興＝
勝田浜合戦・山中鹿之助幸盛」を披露

若あゆ連 WAKAAYUREN



50周年記念コンサート(轟〜若鮎演奏)

チーム紹介

1980年に子供連を卒業したメンバーで構成されたチームとして結成しました。

現在はそれぞれの子供連で「米子がいな太鼓」の基礎を学び、より深く学んだメンバーが若あゆ連に進んできます。

「継続は力なり」という言葉がありますが、この言葉に頼らず、今まで学んだ伝統を引き継ぎながら、いかに個々のパフォーマンスを磨いていくかを考えながら練習に励みつつ、勉学との両立をはかるため「自身の考え、行動に責任をもつ」をモットーに、将来に向かって進む人生の学びの場でもあります。

毎年個々多彩なメンバーですが、一緒に練習を重ねていくうちにいつの間にかひとつになり

‘我武者羅’・一心不乱’

に演奏するメンバーに成長していきます。

これからも一生懸命さがお客様の心に響きわたる「若あゆ連」でありつづけます。



米子がいな祭 (1992年)



鳥取県和太鼓連盟コンサート (2017年)



さらしを巻いて演奏する若あゆメンバー



ラジオ関西祭り(2023年)

東京吉祥寺前進座 小羊チャイルドセンター 30周年記念クリスマス会

若あゆ連のメンバーは寝台列車で東京に向かい、翌日に「旋風」を演奏しました。演奏後、小羊チャイルドセンターの園長先生は、園児たちに「勉学と郷土芸能の活動を両立している若あゆ連のメンバーのように成長してほしい」と称えていただきました。若あゆ連のメンバーは、これからも勉学と太鼓の両立に尽力していこうと誓いました。

国民文化祭・しずおか 2009

鳥取県の代表として出場し、和太鼓の演奏を行いました。子供連を卒業し若あゆ連に入ったメンバーは、学業と部活の両立、今後の進路など学生の悩みを持ちつつも、大好きな太鼓も疎かにしたくないという気持ちで静岡へ遠征に行きました。国民文化祭での演奏曲は「旋風」。中高生らしく、一生懸命ひたむきに太鼓を打つ姿と、若々しいエネルギッシュなパフォーマンスで「米子がいな太鼓」の名にふさわしい演奏を行いました。

- 1980 「若あゆ連」結成
- 1984 米子がいな太鼓10周年記念コンサート
- 1988 緑水園にて合宿
- 1989 米子がいな太鼓15周年記念コンサート
- 1991 東京吉祥寺前進座小羊チャイルドセンター30周年記念 クリスマス会
- 1994 米子がいな太鼓20周年記念コンサート
- 1997 鳥取県和太鼓連盟コンサート(夢みなとタワー)
- 1998 米子市成人式
- 1999 米子がいな太鼓25周年記念コンサート
日・韓親善文化交流会パーティー
- 2000 全日本トリアスロン皆生大会開会式
- 2001 第28回全日本トリアスロン皆生大会
鳥取県和太鼓連盟コンサート和太鼓
ふるさとの響2001
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2006 淀江町盆踊り花火大会
- 2009 第24回国民文化祭・しずおか2009
米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
- 2016 道の駅 にちなん日野川の郷オープン
- 2017 鳥取県和太鼓連盟コンサート
和太鼓ふるさとの響2017
(鳥取県中部地震 復興祈念)
- 2018 鳥取県青少年郷土芸能の祭典
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2023 ラジオ関西祭り
- 2024 米子がいな太鼓50周年記念コンサート

【地域行事等 出演】

稲田本店新酒まつり
春日ふるさと祭り
住吉納涼祭り
県公民館祭
彦名じげおこし芸能大会
車尾公民館祭
われもこう祭り「慰問公演」
お菓子の壽城 秋の感謝祭
JA鳥取西部 農業祭
(他多数出演)



小羊チャイルドセンタークリスマス会(1991年)



第24回 国民文化祭(2009年)



国民文化祭 演奏曲「旋風」

颯連

HAYATEREN



50周年記念コンサート(GOGYO演奏)

チーム紹介

2009年に結成した颯連は、主に子供連を卒団し「もっと太鼓を打ちたい!」と熱い思いを持った中学生で構成されたチームです。毎週金曜日にウインズ米子のホールをお借りして練習しています。2018年にはメンバーが増え、2連(秀風、凌風)に分かれて練習することもありました。オリジナル曲の「颯Ver.2」は、「爽やかな風が吹くように、キビキビと太鼓を打つ」との指導者の思いが込められおり、若々しいさわやかな風が吹くように、颯爽と演奏するメンバーの姿からは、大人連への成長を感じることが出来ます。

私たち颯連は、大人連への入口として、これまで保護者に手伝ってもらっていた太鼓の準備から片付けまで全て自分達で行うようになります。演奏だけではなく周囲の状況も各自で判断しながら行動に責任を持ち、あらゆる知識や技術を高めていきます。

子供連の元気の良さ、大人連の迫力ある演奏、そのどちらも楽しめるのが颯連です。中学生という多感な時期に、学校区を越えて和太鼓で繋がる私たちの「颯爽」とした姿を皆さんに見てもらいたいです。



40周年記念コンサート(2014年)



45周年記念コンサート(2019年)



初代メンバー 米子がいな祭にて(2009年)



米子がいな祭 秀風、凌風合同演奏(2018)

- 2009 『颯連』結成
仙田宗家「颯」作曲
- 2011 博愛苑第11回夏祭り
- 2012 長砂町納涼盆踊り花火大会
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
米子市公会堂 通水式典
- 2015 第30回国民文化祭・かごしま
本田創始者「颯Ver.2」編曲
ご当地グルメフェスティバル米子
- 2018 成実さくら祭り(秀風出演)
仁王堂星取祭(秀風、凌風出演)
大山開山1300年記念・食と技祭り
(秀風、凌風出演)
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
青砥コーナ「GOGYO」作曲
- 2020 ウィンズ米子開設20周年イベント
Akatsukiクリスマスショー
- 2021 JA鳥取いなば謝恩の集い
- 2022 とっとり伝統芸能まつり
- 2023 境港クルーズ客船見送りイベント
韓国企業オーナー会インセンティブツアー
- 2024 米子がいな太鼓50周年記念コンサート
全国健康福祉祭 鳥取大会
「地域文化伝承館」ねんりんピック2024
食と農のフェスティバルせいぶ

【地域行事等 出演】

ながえ祭り
佐陀神社祭り
ウィンズ米子イベント
浜河秋祭り
福原荘 秋の納涼会
米子つつじ祭り 米川会場
長砂町納涼盆踊り大会
博愛苑夏祭り
あがた祭り
(他多数出演)

第30回国民文化祭・かごしま

2015年11月8日、鹿児島県指宿市で開催された「国文祭・少年和太鼓の響演」に鳥取県代表として出演させていただきました。演奏曲は「旋風」。会場と一体化し盛り上がったお囃子に、気迫のある力強い所作は観客を魅了し、ホームページに「素晴らしかった」とコメントをいただく程でした。演奏以外は終始笑いが絶えず楽しい時間となり、貴重な機会を与えていただいた事に、感謝しています。



国民文化祭・かごしま2015 演奏曲『旋風』(指宿市民会館)

とっとり伝統芸能祭(倉吉市)

颯連は『颯ver.2』を披露。がいな万灯とがいな太鼓(極)の共演もあり、ステージ上にがいな祭のような賑わいと活気で盛り上がりました。



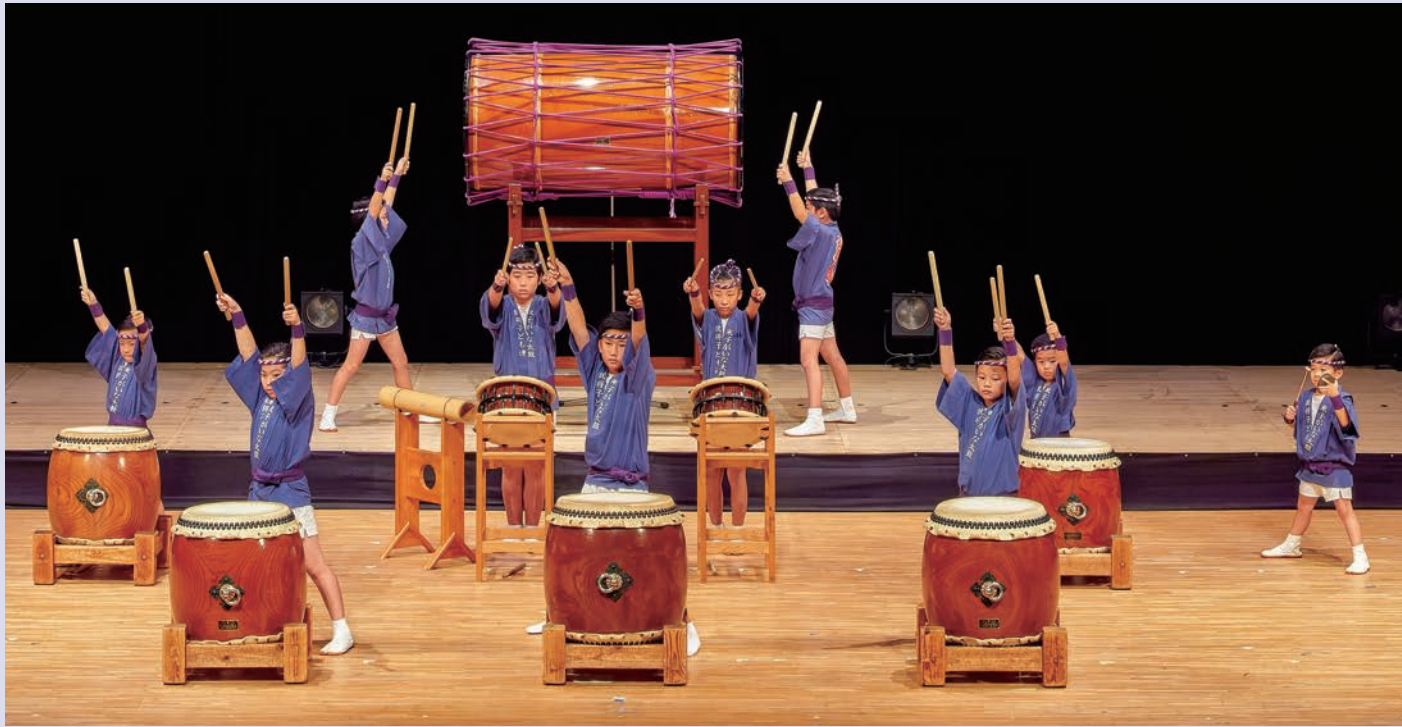
とっとり伝統芸能祭(2022年)



第30回国民文化祭
かごしま2015パンフレット

就将子供連

SHUSHOKODOMOREN



50周年記念コンサート(KODAMA演奏)

チーム紹介

1976年に子供連最初のチームとして誕生した就将子供連は、大人連の若連に続き、保存会チームの中では2番目に歴史のあるチームです。米子市の郷土芸能としてがいな太鼓が長く続いていくことを願い、次世代のメンバーを育てていくことを目的に結成されました。メンバーは就将小学校の児童を中心に構成され、現在は近隣小学校の児童も在籍しています。現在の練習場所、就将体育館を使用する以前は、学校の家庭科室で練習を行っており、調理台の間と間に太鼓を並べて練習していたのが就将子供連ならではの練習風景でした。

保存会初の子供連ということもあり、就将子供連の歴代コーチは若連、市役所連（現在錦聚連）など、ベテランのプレーヤーが多く指導にあたっています。就将子供連初のオリジナル曲は、仙田宗家が作曲した「KODAMA」で、就将の子どもたちの元気の良い掛け声と、力強く太鼓を打ち込む一生懸命な姿が伝わる楽曲です。



第14回米子がいな祭（1987年）



練習場所は小学校の家庭科室



米子がいな祭(1993年)



50周年記念コンサート 2024年メンバー

国際和太鼓交流

カナダのバーモント州と鳥取県との文化交流の一環として、「バーリントン太鼓」のメンバーが、米子がいな祭に参加しました。それに合わせて、「国際和太鼓交流」という催しが開催され、バーモント州の紹介やバーリントン太鼓と米子がいな太鼓の演奏披露、がいな太鼓体験などが行われました。外国のかたと太鼓を通じて交流することができ、太鼓メンバーの子どもたちにも、太鼓の魅力やお互いの文化を知る良い経験となりました。

賀茂神社天満宮夏祭り

就将校区にある賀茂神社天満宮の夏祭りに毎年呼んでいただき、境内にて演奏をしています。7月の下旬に開催されるお祭りのため、地域の方々へ今年のがいな祭で演奏する演目を見てもらう機会となっています。子どもたちは、演奏前に官司さんにお祈りをしてもらいます。身を清めてからの演奏はいつもより気持ちが引き締まり元気の良い演奏となっています。

国際和太鼓交流 International Exchange Event with Taiko Drums		
1. バーモント州を知る会 Introduction to the State of Vermont		
時間 TIME	内容 CONTENTS	備考 REMARKS
12:30~13:00	開会式 Opening Speech	開会 第一席 (鳥取 代表 代表) Mr. Masahiko Hoshino (Representative: Mr. Masahiko Hoshino)
13:00~13:30	バーリントン太鼓グループ紹介 Introduction of Burlington Taiko group	第二席 太鼓紹介 Mr. Edward LeClair
13:30~14:00	バーモント州の紹介 A brief talk on Vermont	第三席 太鼓演奏 (鳥取 代表 代表) Mr. Masahiko Hoshino (Representative: Mr. Masahiko Hoshino)
14:00~14:30	バーモント州の太鼓 Taiko of Vermont	第四席 太鼓演奏 (鳥取 代表 代表) Mr. Masahiko Hoshino (Representative: Mr. Masahiko Hoshino)
2. 和太鼓交流 Exchange with Taiko Drums		
時間 TIME	内容 CONTENTS	備考 REMARKS
14:40~15:30	和太鼓の紹介 Introduction of GABA TAIDOKU	米子がいな太鼓演奏会 本会事務局 Misono Taiko Drum Performance Association (代表 代表 代表) (Representative: Mr. Masahiko Hoshino)
太鼓演奏 Taiko Performance	バーリントン太鼓 Burlington Taiko Drum Group 太鼓演奏 Yonago City Taiko Group 太鼓演奏 Yonago City Taiko Group	
和太鼓体験 Taiko Experience		

国際和太鼓交流会プログラム



賀茂神社天満宮 (2008年)

- 1976 就将子供連結成
- 1984 米子がいな太鼓10周年記念コンサート
- 1988 就将校区民運動会
- 1989 米子がいな太鼓15周年記念コンサート
- 1994 米子がいな太鼓20周年記念コンサート
- 1995 米子桜まつり(湊山公園にて開催)
- 1998 中国地区私立幼稚園教育研修大会
永井郁男氏法務大臣表彰祝賀会
第8回全国童謡・歌唱サミット
- 1999 米子がいな太鼓25周年記念コンサート
国際和太鼓交流
- 2002 米子市余芸大会
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2005 全日本おかあさんコーラス
中国支部鳥取大会
第13回鳥取県せいきょうまつり
- 2006 米子市紅白対抗歌合戦
本通り商店街ふれあい広場懇親会
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2012 ガッツ ガイナーレ応援フェスタ
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
重田紀生出版祝賀会出演
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2020 和太鼓イベント 鼓動心響
米子天満屋創業30周年記念ステージ
- 2021 上淀廃寺跡 彼岸まつり
- 2022 第1回よなご公共交通ふれあいフェスタ
- 2023 米子青年会議所創立65周年記念式典
第2回よなご公共交通ふれあいフェスタ
- 2024 米子がいな太鼓50周年記念コンサート

【地域行事等 出演】

賀茂神社天満宮祭礼
就将公民館祭
就将校区民運動会
就将小学校ジョイントコンサート
みずほ幼稚園夕涼み会
さんかい幸朋苑さんかい祭り
サンロードマーケット
米子駅前イオンがいな祭PRイベント 等
(地域イベント、学校行事に多数出演)



サンロードマーケット(2020年)



賀茂神社天満宮 お祓いの様子
(2019年)

福米東子供連

FUKUYONEHIGASHIKODOMOREN



50周年記念コンサート(大由演奏)

チーム紹介

福米東子供連は、福米東小学校の児童で構成され、1978に結成されました。子供連の中でも、2番目に長い歴史を誇るチームです。日々の練習では、伝統的な和太鼓の技術の向上を目指すだけでなく、礼儀や協調性を学ぶことにも重点を置いています。特に、チーム全体の一体感を大切にしながら、個々の成長を促す指導が行われています。

このように培った力強い太鼓の音と、息の合ったパフォーマンスは、地域の祭りやイベントで披露され、多くの人々に感動を与えています。若い世代のエネルギッシュな演奏は、がいな太鼓の新たな魅力を地域に広めるだけでなく、次世代への伝承にも大きな役割を果たしています。福米東子供連の演奏を通じて、地域の伝統と文化が未来へと引き継がれていく様子は、地域の宝とも言えるでしょう。



鳥取県和太鼓連盟コンサート(2010年)



第51回がいな祭(2024年)



米子がいな祭(2002年)



50周年記念コンサート 2024年メンバー

- 1978 『福米東子供連』結成
- 1984 米子がいな太鼓10周年記念コンサート
- 1989 米子がいな太鼓15周年記念コンサート
- 1994 米子がいな太鼓20周年記念コンサート
- 1997 土産品取協議会全国大会
水都水郷全国会議
- 1998 米子がいな祭デモンストレーション
児童福祉施設夏祭り慰問
なんぶ幸朋苑夏祭り慰問
- 1999 米子がいな太鼓25周年記念コンサート
- 2000 子鳩歌の競演オープニング
上田稔氏米子市善行表彰祝賀会
- 2003 第3回堀川公園祭り
ピアペールまつり
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2006 鳥取県和太鼓連盟コンサート出演
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2010 鳥取県和太鼓連盟コンサート
- 2011 米子がいな祭 コラボ第一回に出演
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
- 2018 「山の日」記念全国大会in鳥取
「里の恵み感謝祭」出演
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2023 つながるマルシェinえるもーる
- 2024 米子がいな太鼓50周年記念コンサート
オレンジたすきリレー
米フェスタ2024「米生郷祭」秋の大収穫祭

【地域行事等 出演】
 つつじまつり
 福米東公民館祭り
 福米東校区運動会
 新開西3区自治会夏まつり
 米原まつり
 山地二区祭り
 (他多数出演)

緑水湖合宿練習

合宿では、長い時間を共に過ごすことで、技術の向上だけでなく、コーチや上級生、先輩保護者から多くを学びました。練習を通じて得た技術面の成長はもちろん、礼儀やチームワークの大切さも学ぶ貴重な機会となりました。また、親子で協力し合い、共に新たな発見をしながら、親子共に成長できた楽しく充実した行事でした。



緑水湖合宿練習 (2011年)

法被 (はっぴ)

2012年に、チームの法被を新たに作成しました。この法被は、オリジナル曲「宙」(現「大宙」)からインスピレーションを得たデザインで、空の青、雲の白、太陽の赤が取り入れられています。これらの色は、子どもたちの元気で明るい性格にぴったりで、彼らのエネルギッシュな演奏と調和するデザインとなっています。この法被を着ることで、子どもたちの存在感がさらに引き立ち、演奏時の一体感が一層増しました。



旧法被 (~2012年)



新法被 (2012年~)

啓成子供連

KEIJOKODOMOREN



50周年記念コンサート(結・新た演奏)

チーム紹介

今年で40周年を迎える私たちは、啓成地区に住む児童を中心に1984年に発足され、現在は小学2年生から6年生までの計13名で毎週水曜日に練習に励んでいます。2011年には従来の色から啓成カラーであるオレンジ色と子どもたちの希望で黒色が選ばれ現在の法被に変更されました。オリジナル曲「結・新た」は人と人との繋がりや結びつき、ご縁を大切にといった願いが込められた曲です。この曲の願いを胸に、これまで啓成子供連を繋げてくださった指導者の方々や先輩方に感謝し、今後の連の発展に尽力して参りたいと思います。

そして米子市認定伝統芸能を継承するため「鼓動心響」をモットーに、聞いてくださる皆さまの心に響く演奏を心がけていきたいです。それには、普段の練習時から子どもらしい元気強さに加え、礼儀作法や所作の綺麗さを大切にし、保護者も一丸となり邁進していきたいと考えています。



第51回米子がいな (2024年)



第42回米子がいな祭 (2015年)



啓成小学校バザール（2023年）



50周年記念コンサート 2024年メンバー

初めての舞台

1985年 わかとり国体に昭和天皇がお越しになり厳戒態勢の中、東光園の中庭で就將子供連と福米東子供連と合同でがいな太鼓を披露させていただきました。皆生海岸や近隣の旅館には厳重な警備が敷かれ、そんな中での演奏は身が引き締まる思いでした。



第40回国民体育大会秋季わかとり国体（1985年）

災害からの復興を祈願して…

2016年 楽しみにしていた三朝町での鳥取県和太鼓連盟コンサートが前日に発生した鳥取県中部地震により中止に。翌年復興を祈念し行われたコンサートで啓成子供連が指名をいただき、地震からの復活を信じ想いを込めてステージにたちました。



復興祈念コンサート（2017年）



復興祈念コンサート（2017年）

- 1984 「啓成子供連」結成
米子がいな太鼓10周年記念コンサート
- 1989 米子がいな太鼓15周年記念コンサート
- 1994 米子がいな太鼓20周年記念コンサート
- 1997 わかとり国体出演
米子市制70周年記念事業西日本野球大会
韓国児童来校交流会
- 1999 米子がいな太鼓25周年記念コンサート
- 2004 米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2011 新田病院あしりの里夏祭り
(2014まで毎年出演)
鳥取県和太鼓連盟コンサート
とりアート2011きらめけ！
公会堂地域交流コンサート
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
JR西日本後藤車両所一般公開
オープニングセレモニー
(2019まで毎年出演)
高島屋開店50周年記念イベント出演
- 2015 杉村コーチによるオリジナル曲
「結」作曲
- 2017 復興祈念コンサート出演
- 2018 中海・宍道湖・大山園域
伝統芸能祭出演
- 2019 本田コーチによる「結・新た」編曲
米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2022 啓成公民館創立50周年記念式典
- 2024 高島屋60周年記念イベント
米子がいな太鼓50周年記念コンサート
ねりんピック2024米子会場
剣道開始式

【地域行事等 出演】
啓成小学校バザール
啓成納涼フェスティバル
つつじまつり
春日ふるさと祭り
ながえ祭り
長砂町納涼花火大会
淀江盆踊り花火大会
(他多数出演)

尚徳子供連

SHOTOKUKODOMOREN



50周年記念コンサート(burn.演奏)

チーム紹介

2004年、がいな太鼓が30周年記念の年にさらに多くの子どもたちに太鼓の経験をしてもらい、次のがいな太鼓を担う世代の裾野を広げていきたいとの思いから新たな子供連を創設することになり、尚徳子供連が結成されました。

オリジナル曲『尚徳光風 輝』は、個性を輝かせながら成長してほしい、2曲目の『burn.』は、仲間と共に頑張り課題を乗り越え笑顔で目標に向かっていくという思いを込めて創られた曲です。今後も尚徳子供連のオリジナル曲として大切に引き継いでいきたいと思います。

現在15名で構成される尚徳子供連。

「元気」を合言葉に活動しています。これからも太鼓を通して見ている方にも元気いっぱいの演奏を届けられるように楽しく打ち続けます。



がいな祭 えるもーる (2022年)



がいな祭 (2023年)



がいな祭 (2024年)



初代メンバー



50周年記念コンサート 2024年メンバー

- 2004 「尚徳子供連」結成
米子がいな祭 初出演
初オリジナル曲『尚徳光風 輝』初披露
米子がいな太鼓30周年記念コンサート
- 2005 デイケア祭り
南部町富有の里まつり
- 2006 五千石公民館祭
米子桜まつり
「スポレク鳥取2006」100日前記念イベント
- 2008 米子駐屯地創設58周年記念行事
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2010 緑水園にて強化練習
- 2012 米子がいな祭キッズコラボ初参加
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
- 2015 ご当地グルメフェスタin米子
- 2017 初の強化合宿(緑水園)
米子がいな祭キッズコラボ参加
和太鼓ふるさとの響 曲目『burn.』初披露
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2021 米子がいな太鼓定期演奏会
「鼓動心響だんだん」
- 2022 創業70周年 寿製菓大感謝祭
米子がいな太鼓定期演奏会
「鼓動心響だんだん」
- 2023 米子がいな祭キッズコラボ参加
- 2024 水辺の楽校開校式
米子がいな太鼓50周年記念コンサート
ねんりんピック2024米子会場
ローイング開始式

【地域行事等 出演】

- 米子つつじまつり
- 東みずほまつり
- ながえ祭り
- 尚徳やんちゃまつり
- 尚徳公民館まつり
- 尚徳夕暮れコンサート
(他多数出演)

米子つつじまつり

主力の6年生が卒団し、4月には小さな新団員が入団。
また、新たな尚徳子供連が結成されます。
4月から練習に励み初ステージが地元で開催されるこの米子つつじまつりのステージ、初めて法被を身につけて緊張して演奏する姿をステージの端で同じく緊張して見守る保護者たち、終了と同時に地元の方から温かい拍手をいただき次のステージへと繋がる舞台です。



米子つつじまつり (2016年)

がいな祭

ステージの前日、burn.のソロを打つ子が体調不良で急遽休むことが分かりました。コーチはソロを無くすことも考えましたが団員の男の子が「自分にうたせてくれ。」と志願しました。コーチは男の子の熱意に打たれ彼に託しました。彼は、夜まで家族と練習し、当日はいつもはムードメーカーでよくしゃべる彼が珍しく緊張していました。本番、彼の頑張りが伝わる演奏でした。また、みんなでフォローし合いチームの団結力がさらに深まりました。



米子つつじまつり (2019年)



がいな祭 (2023年)

響子供連

HIBIKIKODOMOREN



50周年記念コンサート(遊奏演奏)

チーム紹介

2005年に、どこの小学校からでも入れるオープンチームとして結成されました。

当時子供連は、学校区でのチームのみでしたが、太鼓のチームがない小学校の子どもたちから『太鼓がやりたい』との声が多くあがり、希望者を募ったところ多数集まり、同時期に2チーム(響子供連・鼓若子供連)誕生しました。チーム名の『響』は、保存会・初代メンバー・保護者で考えて決めました。

当初は、陸上自衛隊米子駐屯地の体育館をお借りして練習がスタートし、期待に満ち溢れ集まったメンバー・保護者一同でしたので、団結力が強く、とても仲が良いチームの結成となりました。年に数回、コーチとメンバー、その家族でレクリエーションや食事会をして親睦を深めていき、今年で結成19年になります。

現在のメンバーは1年生から6年生までの16名で、学校・地域の域を超えて、とても仲が良くいつも楽しく和気あいあいと練習・活動を行なっています。

今後の目標としては、一つ一つの所作を大切に、迫力のある大きな声を出し、カッコよく演奏をすることです。音楽という字のとおり『音を楽しんで』演奏をし、子どもたちが楽しく、そして聞いてくださる皆さんに楽しんでいただける演奏を心がけたいと思います。



第44回米子がいな祭(2017年7月)



ミニ和太鼓作り体験(2011年4月)



第33回米子がいな祭(2006年7月) 初代メンバー



50周年記念コンサート 2024年メンバー

- 2005 「響子供連」結成
- 2006 皆生尚寿苑盆踊り夏祭りに
鼓子供連と出演
米子駐屯地創設56周年記念行事
ジョイントコンサート
- 2008 響子供連「母連」がいな祭で演奏
- 2009 米子がいな太鼓35周年記念コンサート
- 2011 レクリエーション(ミニ和太鼓作り)
第35回鳥取県川柳大会
- 2012 鳥取県和太鼓連盟創立20周年コンサート
和太鼓ふるさとの響2012
キッズなコラボ出演
- 2014 米子がいな太鼓40周年記念コンサート
響子供連結成10周年祝賀会
(ホテルハーベストイン)
- 2019 米子がいな太鼓45周年記念コンサート
- 2020 和太鼓イベント 鼓動心響
- 2021 第48回がいな祭 どらどらパーク
- 2022 鼓動心響だんだんinアルテピア
鼓動心響だんだんinさなめホール
- 2023 クルーズ船見送りステージ出演
- 2024 米子がいな祭 コラボステージ出演
米子がいな太鼓50周年記念コンサート
ねりんピック2024米子会場
水泳開始式

【地域行事等 出演】

大山お地蔵さまフェスティバル
米子つつじまつり
山地二区まつり
桜台まつり
サンキューフェスタ
宇田川地区文化祭
河崎伝承芸能フェスティバル
中海・宍道湖一斉清掃開始式
米子市紅白対抗歌合戦
米子自動車学校感謝祭
(他多数出演)

35 周年記念コンサート

初代メンバーが卒業し、残った5人でオリジナル曲「鼓動」に挑みました。1人が何パートも受け持ち、必死に練習をしました。人数の少なさから自信をなくしていたメンバーでしたが、リハーサルで「響、よかったぞ」とコンサートマスターの仙田宗家に声をかけてもらい、本番は素晴らしい演奏をし、メンバー・コーチ・保護者で泣いて喜びました。

初代メンバー 母連

お母さん達の「太鼓をやりたい」との熱量がすごく、その勢いで当時の杉村コーチ、松浦コーチにご指導をお願いし、がいな祭で「オープニング」を演奏することができました。衣装は、太鼓Tシャツに子どもの体操服ズボン。子どもたちとますます会話も増え、お父さんたちも応援してくれ、良い事だらけの、一生忘れられない経験をしました。



35周年記念コンサート(2009年11月)



母連 米子がいな祭 (2008年8月)



結成10周年祝賀会 (2014年12月)